

「 岐阜県発日本一、世界一 ～ 1月 ～ 」

スポーツ健康課 スポーツ振興担当

大会、競技会名 (主催者名)	成績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
FIS キマーク・カップ 2007 スノーボード ジャパン オープニング マッチ 女子 ハーフパイプ	優 勝	H19.1.6	中島 志保 (ヨネックス)	養老町出身	雨が降る悪条件の中、中島は1回目に参加選手中最高得点となる33.7点をマークした。2回目にこれを上回る選手は現れず、優勝を決めた。 (北海道：札幌市 札幌真駒内スキー場)
第14回JOCジュニア・オリンピック・カップ フェンシング大会 カデ女子 エペ	優 勝	H19.1.8	笠井 美岐 (大垣南高校)		好調の笠井は、準決勝で田村(群馬県協会)を延長の末15-14で下した。続く決勝では、林(三島FC)を14-10で下して優勝し、世界ジュニアカデ選手権の出場権を得た。 (東京都：駒沢オリンピック公園総合体育館)
カデ女子 エペ	第 3 位	H19.1.8	加藤 菜月 (大垣南高校)		加藤は順調に勝ち上がったが、準決勝で第2位の林(三島FC)に5-15で敗れて第3位となった。その後、世界ジュニアカデ選手権の出場権をかけて田村(群馬県協会)と対戦したが12-15で敗れた。 (東京都：駒沢オリンピック公園総合体育館)
ジュニア女子 サーブル	優 勝	H19.1.10	青柳 裕子 (朝日大学)		青柳は決勝進出を賭けて、県勢の高橋と戦い、14-14から辛勝した。決勝でも唐沢(日本大)を15-11で下して2連覇を達成し、世界ジュニアカデ選手権の出場権を得た。 (東京都：駒沢オリンピック公園総合体育館)
ジュニア女子 サーブル	第 3 位	H19.1.10	高橋 里美 (立命館大学)	羽島北高卒	準決勝で青柳に惜敗した高橋は、その後、世界ジュニアカデ選手権の出場権をかけて久富(大垣南高)と対戦し、15-13で勝利して出場権を得た。 (東京都：駒沢オリンピック公園総合体育館)

大会、競技会名 (主催者名)	成 績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
2007 FISスノーボード世界選手権大会 女子 ハーフパイプ	第 4 位	H19.1.20	中島 志保 (ヨネックス)	養老町出身	女子ハーフパイプの日本勢は、中島選手のライバルである山岡(アネックス)が健闘して、43.0点をマークし第2位となった。これは、オリンピック・世界選手権を通じて日本スノーボード勢初のメダル獲得である。中島も頑張ったが、スピンの難易度が低く、第4位に留まった。 (スイス：アローザ)
天皇杯・皇后杯 平成18年度 全日本卓球選手権大会 女子ダブルス	第 2 位	H19.1.20	十六銀行 田勢 美貴江 潮崎 由香		十六銀行チームは、連覇を目指してこの大会に臨んだ。準々決勝を3-2、準決勝を3-1で切り抜け、決勝は日本生命の金沢・藤井組との対戦となった。2-2で迎えた5セット目は、7対4とリードしたが、その後逆転を許して惜敗した。 (東京都：東京体育館)
第6回アジア冬季競技大会 (2007長春)第2日 スノーボード 女子ハーフパイプ	優 勝	H19.1.29	中島 志保 (ヨネックス)	養老町出身	予選の中島は不調で、1・2本目とも終盤の「横2回転」を失敗し、決勝進出者6名中5位で通過した。演技構成を変更して臨んだ決勝では、「バックサイドのエア」を決めるなど、見違える滑りをみせて44.2点をマークし見事優勝した。山岡(アネックス)も健闘して、41.7点をマークし第2位となった。 (中国：吉林省 長春)
第62回国民体育大会冬季大会 スケート競技会 スピード競技 成年男子5000m	第 3 位	H19.1.31	深董 隆司 (信州大)	岩村高卒	深董は、30日に実施された予選を2位で通過し決勝に進出した。決勝レースは、序盤で4回の責任先頭を完了した。ペースが上がった後半は、優勝の小原(山梨)、2位の黒岩(群馬)に離されたものの、今野(神奈川)をゴール前でかわし3位入賞を果たした。 (群馬県：渋川市 県総合スポーツセンター伊香保リック)